

栄養教育実習事前事後指導(2022年度入学生)

授業科目	栄養教育実習事前事後指導(2022年度入学生)				実務家教員担当科目	-					
単位	1	履修	選択	開講年次	3~4	開講時期	三期				
担当教員	浜谷 小百合										
授業概要	<p>実務家教員として、栄養教諭の実務経験を有した教員が学校現場での実践経験を生かした授業を行う。本科目では、教育現場における食に関する指導の実際を体験する栄養教育実習に臨むにあたり、栄養教育実習の目的や意義、心構え、備えておく知識について説明する。また、食に関する指導の授業研究について解説し、実務経験に基づく助言を行い、授業の実践力向上を目指す。栄養教育実習後においては、実習中の反省点、問題点の整理・分析を行い、今後の課題を明確に認識できるよう発表及びディスカッションを行う。</p>										
授業形態	講義、演習		授業方法	ディスカッション							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 事前：栄養教育実習の意義と目的、実習にあたっての心構え、実習中の注意点を理解し、食に関する指導の授業研究を実践できる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1)</p> <p>2. 事後：栄養教育実習の習得事項から自省的整理を行い、今後の課題を明確にすることができる。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP3-1, DP4-1, DP4-2, DP5-1)</p>										
理想的レベル	標準的レベル1-2の全てを達成したうえで、基本的な知識を十分理解し、教育現場での様々な問題や課題に応用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート											
発表(口頭、プレゼンテーション)	70%										
レポート外の提出物	30%				学習指導案(各自作成)、授業で使用するワークシート、課題(授業中に内容指示)						
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT34114J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
本授業で示された参考資料等を読み、要点をまとめる。模擬授業の実施に際しては、授業計画案、教材・掲示物作成等、事前の準備を十分に行う。										1	
授業計画											
第1回	テーマ：教育実習の意義と目的について										
第2回	テーマ：教育実習における査定授業実践事例についての協議と意見交換										

栄養教育実習事前事後指導(2022年度入学生)

第3回	テーマ：現職栄養教諭が行う食に関する指導と給食管理の実際（外部講師、浜谷）
第4回	テーマ：人権教育 全学で実施（外部講師）（3月下旬を予定） 教育の場で必要な人権に関する事項について
第5回	テーマ：栄養教育実習における児童生徒及び教員とのかかわり方
第6回	テーマ：食に関する模擬授業の実施（1,2年生）
第7回	テーマ：食に関する模擬授業の実施（3年生）
第8回	テーマ：食に関する模擬授業の実施（4年生）
第9回	テーマ：食に関する模擬授業の実施（5年生）
第10回	テーマ：食に関する模擬授業の実施（6年生）
第11回	テーマ：栄養教育実習の事前課題、実習日誌の記入要領および諸注意
第12回	テーマ：栄養教育実習の振り返りと反省点の整理
第13回	テーマ：栄養教育実習の各自課題の検討・協議
第14回	テーマ：栄養教育実習の成果と課題のまとめ
第15回	テーマ：栄養教育実習の報告及び協議（プレゼンテーションによる発表）
テキスト	これまでに履修したテキスト、資料等を活用
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省ホームページ、必要に応じて資料を配付
課題に対するフィードバックの方法	学習指導案（各自作成）については個別にコメントを行い、返却します。課題等については、評価後、全体へのコメントを行い、返却します。
学生へのメッセージ・コメント	これまでに履修した教職課程の科目や学校栄養指導論Ⅰ・Ⅱで学んだ知識や技術を必要とします。教育実習生は学生ではあるが、実習の場では児童生徒にとって教師の立場となります。この授業を通して実習に取り組む目的意識と意欲を高め、基本的な指導スキルやコミュニケーション力を身に付けて教育実習に臨んでほしいと願っています。栄養教育実習で学ぶ多くの貴重な経験が、子どもたちの生涯にわたる健康づくりを支える栄養教諭としての資質向上につながることを期待しています。